

木更津工業高等専門学校	開講年度	令和06年度(2024年度)	授業科目	特別実験
科目基礎情報				
科目番号	A2001	科目区分	専門 / 必修	
授業形態	実験・実習（オムニバス形式）	単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	機械・電子システム工学専攻	対象学年	専1	
開設期	後期	週時間数	2	
教科書/教材	担当教員の作成した実験指導書			
担当教員	浅野 洋介, 大野 貴信, 岡本 保, 板垣 貴喜, 小田 功, 歸山 智治, 高橋 美喜男, 青葉 知弥, 栗本 祐司			
到達目標				
1. 実験結果をまとめて考察し、レポート作成を通して新しい知見を習得することができる 2. 実験結果を考察し、自ら工夫をすることで、実践的な技術を身につけることができる				
ループリック				
評価項目1	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目2	実験結果を詳細に考察できる	実験結果を考察できる	実験結果を考察できない	
評価項目3	複数の新しい知見を習得できる	新しい知見を習得できる	新しい知見を習得できない	
評価項目4	自ら工夫をし実践的な技術を身につけることができる	実践的な技術を身につけることができる	実践的な技術を身につけることができない	
学科の到達目標項目との関係				
専攻科課程 B-4 JABEE B-4				
教育方法等				
概要	機械システムと電子システムに関する発展段階の実験である。 この実験テーマの中には、企業において、電気電子回路の設計と特性測定に関する業務を担当していた1名の教員が、その経験を生かして、太陽電池回路の特性測定に関して指導する1つの実験テーマが含まれている。			
授業の進め方・方法	機械システム系群の実験テーマ 材料学に関する実験、制御セキュリティに関する実験、FFT分析器を用いた振動解析、Hertzの接触応力に関する実験 電子システム系群の実験テーマ 電磁界に関する実験、DCモータのロバスト制御に関する実験、高電圧インパルスの発生・測定・試験、太陽電池の基本特性の測定と検討			
注意点	上記の機械システム系群と電子システム系群から、それぞれ1テーマずつの実験を同時開講する。8テーマのうちから4テーマを選ぶ。このとき、各群から最低、1テーマを選ばなければならない。実験テーマの選択は、授業の第一週目に希望をとり、人数調整をおこなって決定する。			
授業の属性・履修上の区分				
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング	<input type="checkbox"/> ICT 利用	<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業	
授業計画				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	材料学に関する実験（青葉知弥1） 高電圧インパルスの発生と測定（栗本祐司1）	
		2週	材料学に関する実験（青葉知弥2） 高電圧インパルスの発生と測定（栗本祐司2）	
		3週	材料学に関する実験（青葉知弥3） 高電圧インパルスの発生と測定（栗本祐司3）	
		4週	材料学に関する実験（青葉知弥4） 高電圧インパルスの発生と測定（栗本祐司4）	
		5週	歩行動作の計測・解析（歸山智治1） DCモータのロバスト制御に関する実験（浅野洋介1）	
		6週	歩行動作の計測・解析（歸山智治2） DCモータのロバスト制御に関する実験（浅野洋介2）	
		7週	歩行動作の計測・解析（歸山智治3） DCモータのロバスト制御に関する実験（浅野洋介3）	
		8週	歩行動作の計測・解析（歸山智治4） DCモータのロバスト制御に関する実験（浅野洋介4）	
後期	4thQ	9週	FFT分析器を用いた振動解析（板垣貴喜1） マイクロ波に関する実験（大野貴信1）	
		10週	FFT分析器を用いた振動解析（板垣貴喜2） マイクロ波に関する実験（大野貴信2）	
		11週	FFT分析器を用いた振動解析（板垣貴喜3） マイクロ波に関する実験（大野貴信3）	
		12週	FFT分析器を用いた振動解析（板垣貴喜4） マイクロ波に関する実験（大野貴信4）	
		13週	Hertzの接触応力に関する実験（高橋美喜男1） 太陽電池の基本特性の測定と検討（岡本保1）	
		14週	Hertzの接触応力に関する実験（高橋美喜男2） 太陽電池の基本特性の測定と検討（岡本保2）	
		15週	Hertzの接触応力に関する実験（高橋美喜男3） 太陽電池の基本特性の測定と検討（岡本保3）	
		16週	Hertzの接触応力に関する実験（高橋美喜男4） 太陽電池の基本特性の測定と検討（岡本保4）	

